協賛　株式会社パン・パシフィック・
インターナショナルホールディングス

音楽の都　ウィーンより
ウィーン・フィルメンバー等による特別公演

ウィーン・アンサンブル Vimea ～スペシャルコンサート～

井上幸彦当協会顧問/公益財団法人日本盲導犬協会元会長/
株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス元顧問/第80代警視総監を偲んで



フルート	ヴァイオリン	ヴァイオリン	ヴィオラ	チェロ
ウィーン国立歌劇場管弦楽団 ウィーン・フィル団友	ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団	ウィーン・シュトラウスフェスティバルオーケストラコンサートミストレス	ウィーン国立歌劇場管弦楽団 ウィーン・フィル団友	ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団
マティアス・シュルツ Matthias Schulz	パヴェル・クツミシェフ Pavel Kuzmichev	シーラ・エプシュタイン Shira Epstein	マティアス・ヒンク Matthias Hink	ヴォルフガング・ヘルテル Wolfgang Härtel

【第１部】

J.ハイドン：弦楽四重奏曲第77番「皇帝」op 76-3
J.Haydn：Streichquartett Nr.77 “Kaiser” op 76-3

W.A.モーツァルト：フルート四重奏曲二長調 K285
W.A.Mozart：Quartett für Flöte und Streichtrio K285

【第２部】

F.シューベルト:弦楽四重奏曲第10番D.87 , op 125-1
F.Schubert : Streichquartett Nr.10 in Es Dur , D.87,op 125-1

P.A.ジュナン:ヴェニスの謝肉祭op 14
P.A.Génin : Karneval in Venedig für Flöte und Streichquartett op 14

F. クライスラー：愛の喜び
F. Kreisler：Liebesfreud

F. クライスラー：愛の悲しみ
F. Kreisler：Liebesleid

J.シュトラウス２世＆ヨゼフ・シュトラウス:ピッチカート ポルカ
J.Strauss Ⅱ & Josef Strauss : Pizzicato Polka

J.シュトラウス２世:ワルツ「春の声」
J.Strauß Ⅱ : Frühlingsstimmen op.410

J.シュトラウス２世:ポルカ「浮気心」
J.Strauß Ⅱ : Leichtes Blut op.319

※病気等の都合でやむを得ず、出演者・曲目が変更になる場合がございます。

全席指定 6,000円

お問い合わせ　株式会社ミュージックパートナーズ
TEL.048-538-0304
https://music-partners.jp

チケット　イープラス　https://eplus.jp
王子ホールチケットセンター
03-3567-9990（土日祝定休）

2027年2月8日 月 19:00 開演（18:30開場）　銀座 王子ホール（銀座三越隣接）

■主催：一般社団法人ウィーン国際音楽文化協会　■後援：オーストリア大使館 / オーストリア文化フォーラム東京 / 公益財団法人日本盲導犬協会

出演者紹介

■ウィーン・アンサンブル VIMCA ※Vienna International Music Culture Associationの略になります。

ウィーン・フィルをはじめ、ウィーンを代表するオーケストラのトップメンバーによるアンサンブル。古くからの音楽仲間達による弦楽四重奏団とフルートによる特別編成のアンサンブルで、ハイドン、モーツァルトからヨハン・シュトラウスまで本場ウィーンの一流の演奏を披露します。
ウィーンの伝統を受け継ぐ、息の合った演奏とパーフォーマンスをお楽しみください。



パヴェル・クツミシェフ（ヴァイオリン） ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団

芸術家一家に生まれ、6歳から故郷のキーウでヴァイオリンを始める。1999年、モスクワ・チャイコフスキー音楽院を卒業後、オーストリアに移住後。ウィーン国立音楽大学でG.ピヒラー教授に師事。ロシアとオーストリアの「シュテファニー・ホール」コンクールで優勝。近年、ソリストとして、また室内楽奏者として、ヨーロッパの主要な舞台で大成功を収めており、数多くの著名なアーティストやアンサンブルと共演している。2004年よりウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のヴァイオリニスト。



シーラ・エプシュタイン（ヴァイオリン） ウィーン・シュトラウス・フェスティバル・オーケストラコンサートミストレス

7歳でヴァイオリンを始め、2016年、ウィーン市立音楽芸術私立大学修士課程を優秀な成績で修了。
ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のオーケストラ・アカデミーでコンサートマスターを務め、ウィーン国立歌劇場とウィーン・フィルハーモニー管弦楽団と期間契約を結んでいる。2015年から2022年にかけてウィーン・フォルクスオパーの第1ヴァイオリン奏者兼第1ヴァイオリン首席奏者を務めた。リサイタルではオーストリア国営放送で生中継され注目を浴びている。



マティアス・ヒンク（ヴィオラ） ウィーン国立歌劇場管弦楽団 / ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団団友

ウィーン国立音楽大学、グラーツ国立音楽大学及びウィーン市立音楽院でヴァイオリン及びヴィオラを専攻し首席で卒業。卒業と同時に入団試験に合格。学生のころからグスタフ・マーラー・ユーゲントオーケストラ、PMFオーケストラ、ウィーンの主要なオーケストラで演奏し活躍。多くのフェスティバルに出演しソロや室内楽活動でも将来を嘱望されている。
ソリストとしても父親で34年間ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスターを務めた故ウェルナー・ヒンク氏と共にモーツァルトの協奏交響曲等で演奏している。
日本へはウィーン・フィル日本公演や指揮者の佐渡裕氏からの依頼で首席奏者として来日するなど日本でのファンも多い。



ヴォルフガング・ヘルテル（チェロ） ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団

7歳でグラーツの音楽院でレッスンを受ける。16歳よりグラーツ国立音楽大学に編入しA級取得後、ウィーン国立音楽大学でヘルツァー教授に師事し、2001年に優秀な成績で卒業。1998年にウィーン・フォルクスオパーのソロ・チェロ奏者としてデビュー。2003年よりウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のチェリスト。室内楽ではウィーン・フィルの弦楽四重奏団「シュトイデ・クァルテット」のチェリストでもある。個人所有のチェロは1807年マルティン・シュトス作。



マティアス・シュルツ（フルート） ウィーン国立歌劇場管弦楽団 / ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団団友

ウィーン国立音楽大学にて父親でありウィーン・フィル首席フルート奏者故ヴォルフガング・シュルツ教授の元で学ぶ。ソリストとしてウィーン・トーンキュンストラー管弦楽団、ザルツブルグ・モーツァルテウム管弦楽団、リンツ・ブルックナー管弦楽団、ウィーン室内管弦楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団等と共演。ヨハン・シュトラウス2世が設立したウィーン・ヨハンシュトラウス管弦楽団首席奏者も務めている。オーストリアフルート協会会長。2026年オーストリア政府よりプロフェッサーの称号を授与。



銀座 王子ホール（銀座三越隣接）

●電車
・JR有楽町駅下車　銀座口から徒歩7分
・地下鉄銀座駅下車　A12出口から徒歩1分
・地下鉄銀座一丁目駅下車　8出口より徒歩5分（※9出口は2026年12月まで閉鎖中）
・地下鉄東銀座駅下車　N1出口、N2出口から徒歩1分（銀座駅からも利用可）
A2出口から徒歩2分

●駐車場
・銀座四丁目公共駐車場（銀座三越地下）8:00～23:30［300円／30分］
・西銀座駐車場［330円／30分］　03-3572-5201
・新京橋駐車場［200円／30分］　03-3563-6481
・東銀座駐車場［250円／30分］　03-3542-2991（※2026年上期まで閉場中）